

橋ときわっ子

学校だより第8号
令和3年7月20日
武雄市立橋小学校
校長 榮岩 和浩



— やればできる みがけば光る 一歩でも前進 続けて 続けて —

学校教育目標 「生きる力を身に付け、学校・家庭・地域の思いを受け継ぐときわっ子の育成」

☆学力向上 ☆官民一体型学校づくりの推進 ☆ICT利活用教育の推進 ☆コミュニティ・スクールの導入促進

いよいよ7月21日から8月24日まで、35日間の長い夏休みが始まります。4月からのこの4ヶ月間、保護者の皆様や地域の方々のご支援とご協力により、充実した学校運営を行うことができました。特に、ときわっ子のために、育友会をはじめ、地域のさまざまな支援団体の皆様の献身的なご支援に関しましては、改めてありがたさを感じるばかりです。

休み中は、夏休みだからこそできる活動や体験を計画的に進めてほしいと思います。得意な学習を伸ばす、苦手な学習を克服する、家の手伝いを決めて継続する、早寝早起き等規則正しい生活をするなど、何か続けられるものを見つけ、夏休みの間続けられれば必ず得るものがあります。

「継続は力なり！」

水の事故に気をつけよう ～終業集会の話～



7月20日の終業集会は、今年度になって初めて、体育館で行いました。校長の話では、「水」という漢字の成り立ちの話を使い、海、川、ため池の流れや深さの違いを知らないと、流されたりおぼれたりしてしまうということを話しました。



武雄市内の小学校では、学校の決まりとして、「子どもだけでの川遊びや釣りはしない」となっています。夏休み中も、「水」の恐ろしさを十分理解したうえで、「自分の命は自分で守る」ことを意識して、水の事故や水害から命を守る行動をしてほしいと思います。

水害から橋町を守る人たちの思い

7月12日（月）に、4年生に橋町消防団の野田謙一郎分団長さんが水害から町を守る講話をしてくださいました。

質問コーナーでは、「橋町消防団の人数は？」「これまでで一番大変だった水害は？」「どうして消防団に入ろうと思ったの？」などの質問に丁寧に答えてくださいました。

分団長さんは「自分の命は自分で守るのと同じように、自分たちの地域は自分たちで守ることが大切。だから、将来ぜひ消防団に入りたい」と話されました。

地域の思いを受け継ぎ、地域に貢献できる橋っ子になってほしいと思います。



税

租税教室

7月15日（木）に、6年生を対象とした、租税教育推進協議会による租税教室がありました。武雄市役所税務課の田中さんと本多さんが「税の使いみち」「税の役割」「税の必要性」などについて、わかりやすく話をしてくださいました。

DVD教材「マリンとヤマト」からは、毎日の暮らしの中で、税がどのように使われているかを学びました。税は、私たちが安全で安心な生活や豊かな暮らしをするための「会費」だそうです。

租税教室を通して、子どもたちの税に対する知識と理解が深まりました。

